

**LGBTQ+に関する取り組みを評価する「PRIDE 指標 2022」において  
7年連続で最高位『ゴールド』を受賞！**

JTは、11月10日（木）に任意団体「work with Pride（以下 wwP）」<sup>※1</sup>が主催する「PRIDE 指標 2022」<sup>※2</sup>において、最高位の『ゴールド』を受賞しました。『ゴールド』の受賞は、2016年より7年連続となります。



JTは、性別、性自認、性的指向や年齢、国籍だけではなく、経験、専門性等、異なる背景や価値観を尊重し、違いに価値を見出すことが、企業の持続的な成長に繋がると考えており、多様化（ダイバーシティ）の推進を経営課題のひとつとして位置付け、様々な取り組みを行ってきました。

これまで JT は、社内のイントラネット上での LGBTQ+に関する情報ページの常設等を通じた意識啓発や、「パートナーシップ認定制度」導入等の社内制度の見直しを含め、多様な価値観を認め合える風土づくりを行ってきました。また、全国にある拠点においても、各地で開催される LGBTQ+イベントへの参加等、本社主導だけではなく、自主的な取り組みを行うフェーズに発展しています。

これらの取り組みを含め、LGBTQ+に関する継続的な取り組みが評価され、今回の『ゴールド』受賞につながったと考えています。

今後も JT は、多様な人財の活躍による持続的成長に向けて、多様化の推進に積極的に取り組んでまいります。

※1 任意団体 work with Pride（wwP）は、企業などの団体における LGBTQ+に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援しています。

※2 PRIDE 指標 2022 の詳細につきましては、wwP のウェブサイト（<https://workwithpride.jp/>）をご参照ください。